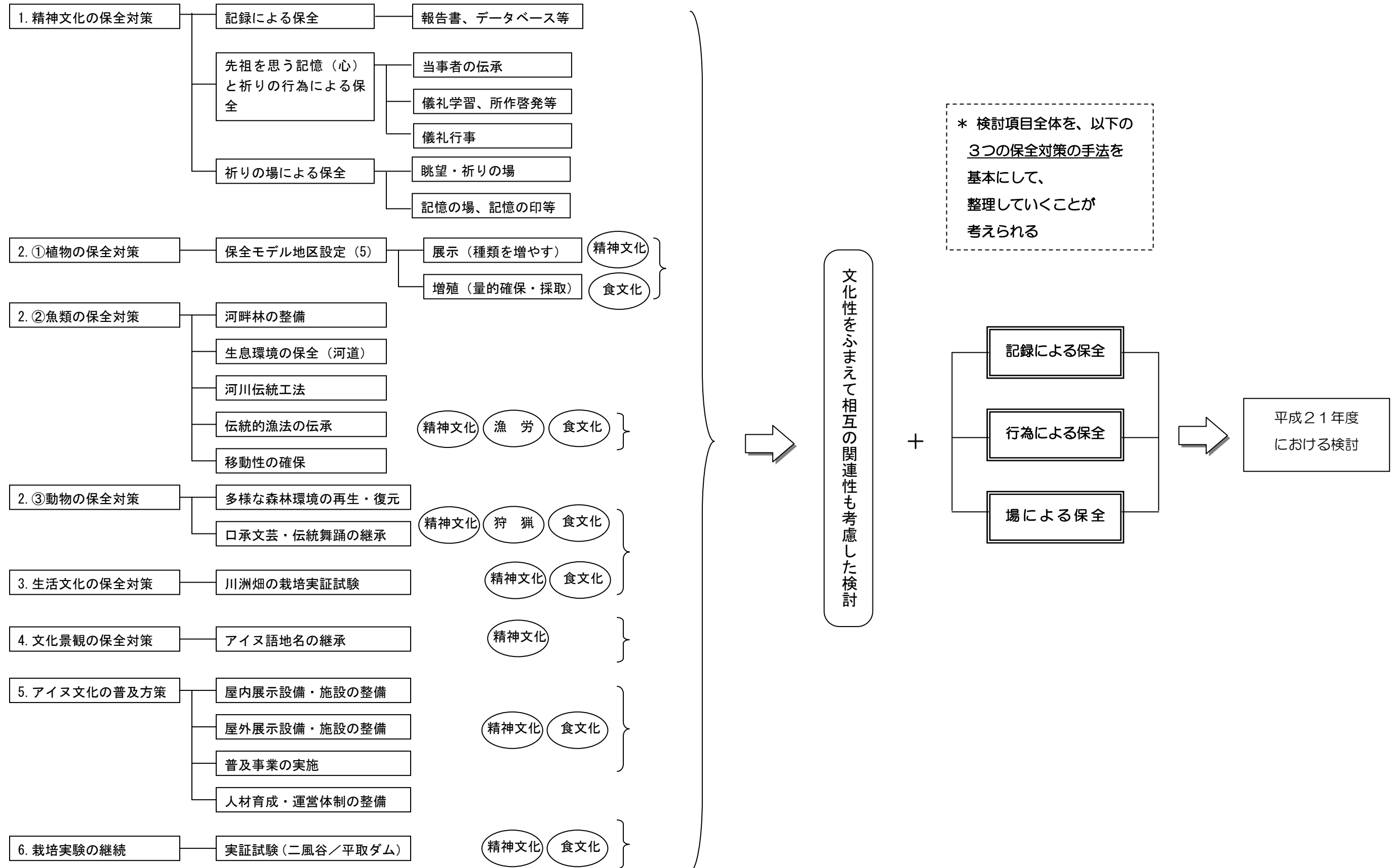


I. 平成20年度までの検討状況

◆平取ダム地域文化保全対策検討会におけるこれまでの検討状況 ~ 今後のより具体的な保全対策の検討と推進に向けて ~

(第9回検討会資料-10の1引用、一部改訂)



II. 保全対策の保全の手法別整理（案）

1. 精神文化に係る保全対策についての実施イメージ案

記録による保全

- ・ 日常的な所作に関する情報収集
- ・ パソコンを使ったデータベースの構築
- ・ 報告書への掲載
- ・ 保全対象に関する記録の写真や模型を使った展示



報告書への掲載



所作に関する情報収集



データベースの構築



現地の写真や立体模型の展示



人々が先祖を思う記憶(心) や祈りの行為による 保全

- ・ カムイノミに関する学習機会の創出
- ・ 聞き取り協力者による現地でのカムイノミの作法の紹介
- ・ 日常的な所作に関する調査結果の活用
- ・ 儀礼行事の実施



伝承者からのカムイノミの学習



現地でのカムイノミの作法の紹介



現地でのカムイノミの実施

祈りの場による保全

「眺望・祈りの場－１のイ」

- ・チノミシリー１を遠くで眺望。誰もが利用。立ち寄り用の駐車帯を想定

「眺望・祈りの場－１のロ」

- ・チノミシリー１を近くで眺望。フットパスを利用。儀礼時は立入制限も想定

「眺望・祈りの場－２」

- ・チノミシリー２を近くで眺望。フットパスを利用。儀礼時は立入制限も想定

「眺望・祈りの場－３」

- ・チノミシリー３を眺望。管理所駐車場等を利用して大勢の見学者への対応も想定

「眺望・祈りの場－４」

- ・番兵小屋や仮小屋があったことを伝え、先祖を偲ぶ場所としての役割を想定
- ・フットパスの中間的休憩地点。立ち寄り用の駐車帯を想定
- ・チノミシリー２の眺望も想定（付替道路工事の盛土で原状より高い位置）

「記憶の場」

- ・例えば、宿主別橋たもとの番兵小屋があった方向を眺望できる場所

「記憶の印」

- ・例えば、カムイワッカの場所をわかりやすく伝える目印
- ・番兵小屋のことを後世に伝える解説板 など

「番兵小屋等を示す記憶の印」

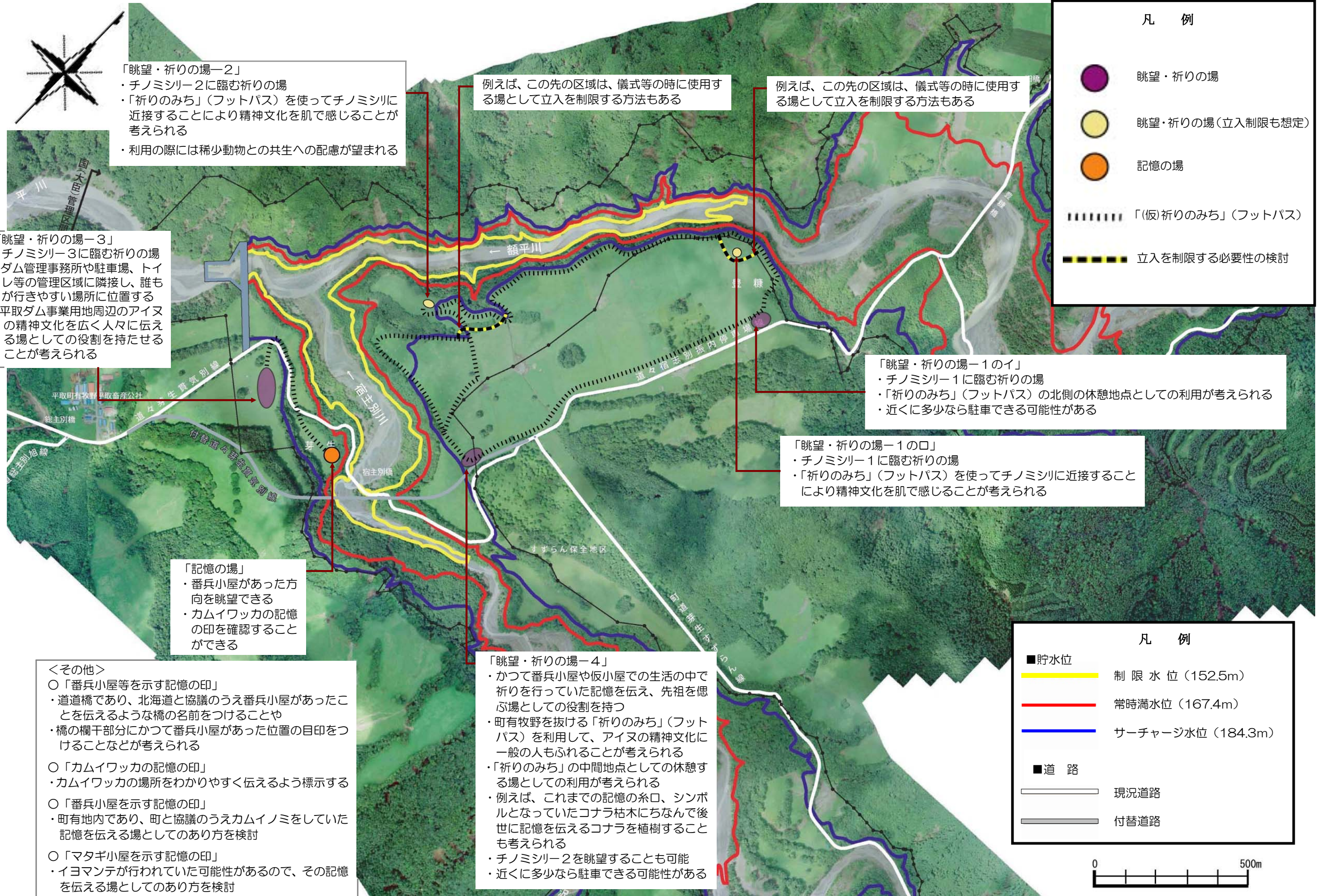
- ・宿主別橋たもとの番兵小屋があったことを伝える目印を橋に付けることを想定
- ・橋の名前をつけることを想定

「(仮) 祈りのみち」

- ・眺望・祈りの場や記憶の場の間を、人が歩くことでつなぐ小径（フットパス）を歩くうちに周囲の自然環境やアイヌの精神文化にふれることを想定

「祈りの場による保全」の保全対策イメージ（案）

第9回検討会 資料-3の2より引用



「眺望・祈りの場-2」
 ・チノミシリー2に臨む祈りの場
 ・「祈りのみち」(フットパス)を使ってチノミシリーに近接することにより精神文化を肌で感じることが考えられる
 ・利用の際には稀少動物との共生への配慮が望まれる

例えば、この先の区域は、儀式等の時に使用する場として立入を制限する方法もある

例えば、この先の区域は、儀式等の時に使用する場として立入を制限する方法もある

「眺望・祈りの場-3」
 ・チノミシリー3に臨む祈りの場
 ・ダム管理事務所や駐車場、トイレ等の管理区域に隣接し、誰もが行きやすい場所に位置する
 ・平取ダム事業用地周辺のアイヌの精神文化を広く人々に伝える場としての役割を持たせることが考えられる

「眺望・祈りの場-1のイ」
 ・チノミシリー1に臨む祈りの場
 ・「祈りのみち」(フットパス)の北側の休憩地点としての利用が考えられる
 ・近くに多少なら駐車できる可能性がある

「眺望・祈りの場-1のロ」
 ・チノミシリー1に臨む祈りの場
 ・「祈りのみち」(フットパス)を使ってチノミシリーに近接することにより精神文化を肌で感じることが考えられる

「記憶の場」
 ・番兵小屋があった方向を眺望できる
 ・カムイワッカの記憶の印を確認することができる

「眺望・祈りの場-4」
 ・かつて番兵小屋や仮小屋での生活の中で祈りを行っていた記憶を伝え、先祖を偲ぶ場としての役割を持つ
 ・町有牧野を抜ける「祈りのみち」(フットパス)を利用して、アイヌの精神文化に一般の人にもふれることが考えられる
 ・「祈りのみち」の中間地点としての休憩する場としての利用が考えられる
 ・例えば、これまでの記憶の糸口、シンボルとなっていたコナラ枯木にちなんで後世に記憶を伝えるコナラを植樹することも考えられる
 ・チノミシリー2を眺望することも可能
 ・近くに多少なら駐車できる可能性がある

<その他>
 ○「番兵小屋等を示す記憶の印」
 ・道道橋であり、北海道と協議のうえ番兵小屋があったことを伝えるような橋の名前をつけることや
 ・橋の欄干部分にかつて番兵小屋があった位置の目印をつけることなどが考えられる
 ○「カムイワッカの記憶の印」
 ・カムイワッカの場所をわかりやすく伝えるよう標示する
 ○「番兵小屋を示す記憶の印」
 ・町有地内であり、町と協議のうえカムイノミをしていた記憶を伝える場としてのあり方を検討
 ○「マタギ小屋を示す記憶の印」
 ・イヨマンテが行われていた可能性があるため、その記憶を伝える場としてのあり方を検討

2. 生物の生存環境に係る保全対策の検討

2. - 1 植物に係る保全対策についての実施イメージ案

記録による保全

- ・ 工事改変箇所の現地調査
- ・ 有用植物保全モデル地区の現地調査
- ・ 有用植物移植後のモニタリング調査
- ・ 有用植物に関するデータベースの構築
- ・ 報告書への掲載



有用植物データベースの構築



報告書への掲載

行為による保全

- ・ 有用植物保全モデル地区における展示あるいは増殖のための栽培
- ・ 種の採取・育苗・移植作業
- ・ 育成管理（半栽培）作業
- ・ 採取した有用植物を利用した食文化の試行
- ・ 有用植物を利用した、伝承者育成のための工芸品の作成



木本の移植作業



草本の移植作業



自生しているガマの半栽培（草の除去）

場による保全

- ・ 有用植物保全モデル地区の設定とその他の有用植物保全適地の検討

有用植物保全モデル地区の位置図

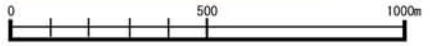


凡 例	
	制限水位 (152.5m)
	常時満水位 (167.4m)
	サーチャージ水位 (184.3m)
	現況道路
	付替道路
	河川敷地境界

保全区域の記号
N = 額平川
S = 宿主別川

保全区域の植生面
の特色による分類

- = 草本
- = 水生植物
- = スギキ
- = 樹木
- = 植物園・圃場など



2. - 2 魚類に係る保全対策についての実施イメージ案

記録による保全

- ・ 伝統的な漁法に関する情報収集
- ・ パソコンを使ったデータベースの構築
- ・ 報告書への掲載



報告書への掲載

行為による保全

- ・ 河畔林の保全と再生
- ・ 漁具の作成・漁法に関する体験学習の実施
- ・ 伝統的漁法に関する伝承者の育成
- ・ 稚魚の放流
- ・ 移動性の確保



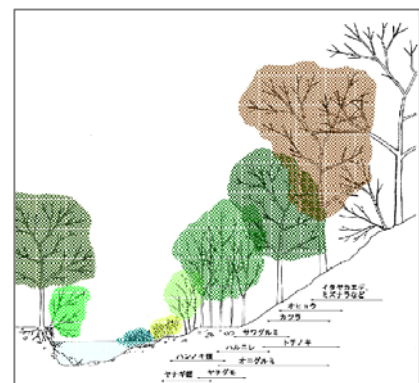
伝統的漁法の再生

場による保全

- ・ 河畔林の保全と再生
- ・ 自然工法を取り入れた生息環境の保全方策に関する実証試験
- ・ 河川伝統工法の実施
- ・ 移動性の確保



自然工法による生息環境の保全



河畔林の整備

2. - 3 動物に係る保全対策についての実施イメージ案

記録による保全

- ・ 沙流川流域で継承されている口承文芸や踊りに関する情報収集
- ・ パソコンを使ったデータベースの構築
- ・ 報告書への掲載



報告書への掲載

行為による保全

- ・ 半栽培的な方法による多様な森林環境の再生・復元
- ・ 口承文芸・伝統舞踊の継承のための絵本や冊子づくり
- ・ 絵本や冊子を利用した口承文芸に親しむ機会づくり
- ・ 伝承者による口承文芸についての学習機会の創出



小学校での舞踊の学習



口承文芸に関する研修

場による保全

- ・ 多様な森林環境の再生・復元

3. 生活文化に係る保全対策についての実施イメージ案

記録による保全

- ・ 収穫物の保存方法や調理方法に関する情報収集
- ・ パソコンを使ったデータベースの構築
- ・ 報告書への掲載



報告書への掲載

行為による保全

- ・ 川洲畑実証試験の実施
- ・ 収穫を目的とした実証試験の実施
- ・ 川洲畑を利用した体験学習の実施
- ・ エコツアー等の実施
- ・ 収穫物を利用した食文化試行



体験者の指導による播種作業



体験者を交えた収穫作業

場による保全

- ・ 川洲畑実証試験地の設定



川洲畑に適した土質（沖積土）



川洲畑実証試験地の選定

4. 文化景観に関する地形・事物・事象に係る保全対策についての実施イメージ案

記録による保全

- ・アイヌ語地名データベースの構築
- ・報告書への掲載



アイヌ語地名データベースの構築



報告書への掲載

行為による保全

- ・アイヌ語地名データベースの公開
- ・額平川流域のアイヌ語地名などを紹介する印刷物の作成
- ・額平川流域のアイヌ語地名などを紹介する映像資料の作成
- ・文化景観を訪ねるツアー等のプログラムの作成
- ・文化景観を訪ねるツアー等のプログラムの実施



アイヌ語地名の冊子



アイヌ語地名の名勝地の解説付き見学ツアー

場による保全

- ・アイヌ語地名の標示解説板の設置
- ・アイヌ語による河川名の表示看板の設置



現存のアイヌ語地名の標示解説板



河川名の標示看板イメージ

5. 保全対策に係るアイヌ文化普及方策についての実施イメージ案

記録による保全

- ・ 保全対策に関する情報の普及のための整理
- ・ 報告書への掲載



報告書への掲載

行為による保全

- ・ アイヌ文化伝承者や有識者の指導による知識や技能に関する講習
- ・ アイヌ文化伝承者や有識者による現地での知識や技能の指導
- ・ 保全対策を取り入れたアイヌ文化体験プログラムの作成
- ・ アイヌ文化体験プログラム実施のための人材育成
- ・ アイヌ文化体験プログラムの実施



植物調査や栽培方法に関する現地指導



伝承者による現地での儀礼に関する実践指導

場による保全

- ・ 屋内展示設備・施設の整備
- ・ 屋外展示設備・施設の整備



保全対策の取り組みに関する室内展示



保全対策に関する解説板の設置

．今後の検討予定

平成21年度における平取ダム地域文化保全対策検討会における検討内容（案）

保全対策検討項目		主な検討内容（案）	
1	精神文化への対応	・眺望・祈りの場、祈りのみち、記憶の場等の場所と内容等に関する検討 など	
2	生物の生存環境への対応	植物	・保全モデル地区の現状・取組をふまえた、展示・増殖の目的に応じた保全対策の検討 ・有用植物の採取と乱獲を防ぐ仕組みの検討 など
		魚類	・伝統的漁法の再現に関する検討 ・サケ・マス類等の移動性の確保に関する検討 など
		動物	・動物に関わる口承文芸に関する教材や学習機会等の創出に関する検討 など
3	生活文化への対応	・体験学習等のプログラムや収穫物を利用した食文化試行に関する検討 など	
4	文化景観としての地形・事物・事象への対応	・アイヌ語地名データベースの利用方法と表示解説板に関する検討 など	
5	保全対策に係るアイヌ文化普及への対応	・屋内展示と屋外展示に関する検討 ・普及啓発プログラムに関する検討 など	
6	栽培実験の継続への対応	・栽培箇所・方法等に関する検討 など	